

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Vol.12
2021

06

Rotary
第2530地区



Rotary Opens
Opportunities

Rotary International District 2530



CONTENTS ガバナー月信 2021年06月号

「不動沢橋」(撮影:安藤錬雄)

ガバナーメッセージ	2	第6回諮問委員会	6	ロータリー財団、米山記念奨学会 寄付状況	13
会津分区IM Zoom	3	第13回全国RYLA研究会(山形大会)	6	新会員紹介	14
第5回戦略計画委員会	3	第3期オンラインRLIパートI	7	ロータリー財団ご寄付の認証者	14
全国青少年交換研究会ROTEX分科会	4	三春RC創立50周年記念式典	7	4月会員数報告	15
RLI委員会 DLトレーニング	4	ハイライトよねやま	8	職業奉仕委員会	16
2021-22年度地区補助金審査会+引継ぎ会+夕食会	5	コーディネーターニュース	11	6月行事案内	16
地区のあゆみ	5	ロータリー賞への取組状況	12	公共イメージQRコード	16

ガバナーメッセージ



国際ロータリー第2530地区
2020-21年度ガバナー

石黒 秀 司

親愛なる2530地区の皆さま

いよいよ、今年度最終月となりました。早いものですね。もう一年が終了いたします。「仕上げが肝心」そんな文言もあります。しっかりと意識した仕上げで、有終の美の6月にいたしましょう。まず、4月4日の地区大会本会議、4月21日の地区大会研修セミナーに加え、昨年、11月21日の地区大会委員会、会長幹事会・選挙人会と3回に渡る大会、会員の皆様のご協力により無事に終了することができました。心から厚く御礼申し上げます。地区大会の開催方法決定まで、二転三転し、正に、コロナウイルスに翻弄されましたが、最終的には、「コロナウイルス感染拡大防止の行動も責任ある私たちロータリアンの行動」との結論に達し、地区史上初めての、完全無観客のオンライン配信となりました。ネット環境のない会員の為に、サテライト会場を設営していただいたクラブも多く、初めてのオンライン地区大会を成功に導こうとの地区会員の熱意の結晶を見た思いです。重ねて、厚く御礼申し上げます。予算的にも、年当初、お預かりした地区大会賛助金のみとして、新たな登録料はいただきませんでした。2月の地震のあと、被害の為、使用可能のホテルが少なく、会場費などが大きく支出された中で、知恵を絞っての企画、設営、予算執行でした。例年の予算規模と比較いたしますと、総額で1,000万円~1,200万円の予算減少の中、最大効率の予算執行になったと思います。新たな登録料がなかったことで、参加しやすい地区大会となり、1,600名を超えるご登録をいただきました。さらに、YouTube配信したことで、終了後も区内や全国のロータリアンが、視聴して毎日、アクセスカウンターの数値が伸びています。振り返り、何度も見られるということも特徴となっています。今後の地区大会の内容、やり方、予算組みや執行に過去の慣例に縛られないその年らしい独創的な計画を如何に打ち出していくのか、少なからず新たな模索の動きへと繋がるものと感じています。

特別講演の順天堂大学の天野篤先生のことばに

「未来の手がかりを考えた時に、日ごろから少しずつ取り入れることに注目してください。例えば、体重だったり、血圧だったり、食事の嗜好だったりを見過ぎず、その日々の振り返り、週ごとの振り返り、月ごとの振り返り、季節ごとの振り返りを取り入れてください。また、現在とか近未来的に取り込まないとその将来に不安が残ることについても、頭の片隅に入れておいて下さい。」がございました。どうか、胸に刻んで、所属ロータリーに、それぞれの事業所で、家庭でお使いいただきたいと思います。

さて、今年度の地区目標に「クラブ魅力最大化から会員増強」がござります。大きな目標設定をしましたので、当然、会員増強委員会の今年度の行動は、例年に増しての動きとなっています。5月には、年度末の会員維持と会員増強の車の両輪を動かそうと会員増強ミーティングを4回開催いたしました。その中で、全国地区の増強の様子を調べ、ご紹介いたしました。資料作成の都合で2月末での集計が最新版となりますが、2月末段階で、全国34地区の増強会員数順位ですが、何と当地区が1位でした。純増73名です。次に71名、68名で、53名が続きます。

(あくまでも私の集計です。)地区会員数が違いますので、単純な比較はできませんが、ほとんどの地区が、純増10名~30名で苦勞している中で素晴らしい実績かと思っています。地区内会員の努力の結晶かと思っています。何故、増強なのか?しっかりと肚に落とし、行動しないとイケませんが、まずは「高邁なロータリーの奉仕の理念」の継承と「自己磨きの土壌の充実から立派なロータリアンの育成」かと感じています。「ロータリーは何か?」「何故、ロータリーに入っているのか?」「ロータリー会員としてやるべきことは?」を自問自答しましょう。地区内でも増強実績は、二極化していて、苦戦しているクラブも多いのは事実ですが、個々のクラブ成長の「未見の我との縦軸の競争」を大いに期待しています。

さあ、あと1か月しかありません。本来ならば、天野篤先生の講演内容のような日々の振り返り、週ごとの振り返り、月ごとの振り返りを取り入れ、現在とか近未来的に取り込まないとその将来に不安が残ることについても、頭の片隅に入れての通年のコツコツとした動きが必要だったのですが、しかし、ここは、会員維持と会員増強の車の両輪をフル回転で動かしてまいりましょう。「未見の我との縦軸の競争」も厳しくて「眉間に縦じわ」が入りそうですが、明るく賑やかに前向きに行きましょう。

「Row out」精神。大学で完全燃焼したボートのことばです。

「力出し切り、清々しい年度末を!!そして、志賀年度のスタートを!!!」

会津分区IM Zoom 4月18日

会津分区ガバナー補佐 渡部 英一 (猪苗代RC)



「会津分区 インターシティーミーティング」
パネルディスカッション
「猪苗代湖水質日本一への課題と展望」

11月に予定したIMが、コロナ禍で4月18日に変更しましたがまだ難しいので、YouTubeでの配信とパネルディスカッションは、環境省とワシントンホテルでZoomでの開催になりました。ワシントンホテルにはYouTubeが見られない人のためにご来場いただきました。会場と視聴者合わせて約300人の参加をいただきました。

4月18日(日) 13:00～15:00

会津若松ワシントンホテルよりYouTube配信
第1部

基調講演「全国の湖沼と猪苗代湖の状況」
環境省水・大気環境局環境課課長補佐

藤尾 隆氏

東京環境省よりZoomでの参加

基調講演「猪苗代湖の状況と県の取り組み」

福島県生活環境部 水大気課 課長 小池 由浩氏

第2部

パネルディスカッション「猪苗代湖水質日本一への課題と展望」

猪苗代町企画財課 課長

野矢 実氏

NPO法人輝く猪苗代湖をつくる県民会議 理事

佐瀬 真氏

国際ロータリー第2530地区

会津分区ガバナー補佐

渡部 英一

コーディネーター (IM実行委員長)

中村 岳詞

環境省からは、全国の湖沼のなかでも環境に取り組んでいる姿勢は素晴らしいこと

県からは、新しく水草刈り取り船を購入し、積極的に取り組んでいる。

町からは、ビーチクリーナーでの葦回収作業を今年度より開始する。

NPO法人からは引き続き水質改善と広報啓蒙を行う。



第5回戦略計画委員会 4月21日

地区幹事 関根 信 (郡山RC)



2021年4月21日(水)、郡山ビューホテルに於いて第5回戦略計画委員会が開催されました。出席者は以下のとおりです。

[出席者]

石黒秀司ガバナー、芳賀裕直前ガバナー、志賀利彦ガバナーエレクト、佐藤正道ガバナーノミニ、関根信地区幹事、福島佳之地区資金委員長、蛭田修二次期地区幹事

議事につきましては、以下のとおりです。

(1) 地区事務所開設について

石黒秀司ガバナーより、3年後の地区事務所固定化にあたって、事務所経費の削減そして委員会主導による委員会完結型の運営について説明がなされた。福島佳之資金委員長から、直近1年間の事務所経費実額の説明がなされた。

(2) だて西RCの未払い金について

石黒秀司ガバナーより、だて西RCの未払い金についての経緯の説明がなされ、今後の地区として

の対応方を協議した。

(3) 阿久津PDGの祝賀会についての地区からの支出について

石黒秀司ガバナーより、阿久津PDGの祝賀会の一助のため地区運営資金よりRI超私の奉仕賞関連費として支出したい旨の報告があった。

(4) その他

石黒秀司ガバナーより次のとおり提案がなされた。

- 地区冠名基金について、地区として設立したい。
- ふくしま職業奉仕宣言について、今年度内にふくしま版職業奉仕宣言をしたい。



全国青少年交換研究会ROTEX分科会 4月24日

青少年交換委員会委員長 細川 正司 (石川RC)



4月24日RIJYEM主催の「全国青少年交換研究会ROTEX分科会」にZoom参加させて頂きました。現役ROTEXの活動情報交換会ということで午後2時より約4時間にもわたる長時間の会議でしたが内容のある素晴らしい情報の交換の場となったように思いました。当日の参加者はROTEX・ロータリアンで約100人位（フランスのROTEX、台湾のロータリアン洪氏）だったと思いますが、昨年12月に設立された、東京北Exchangeロータリー衛星クラブ（世界初のROTEXだけで構成されたクラブ）のメンバーが中心となって分科会を運営していたところが素晴らしかったと思います。

RIJYEMアドバイザーである近藤眞道氏の挨拶から始まり、各地区のROTEX代表が地区の現状・活動内容・問題点を発表し、続いてROTEXを代表して宮本春代（TBSアナウンサー NY在住）・岡田哲郎（伊藤忠勤務）両名が交換留学時の体験

談や現在に至るまでにはいかにも留学経験の影響を受けたかを話しておりました。なかでも「ロータリーへの恩返し」という言葉が出たことに感銘を受けました。後半は、質疑応答の中でROTEXが抱える問題点がでました。高校生時に留学経験し、進学やその後就職で都会に出てしまうと連絡がなかなか取れない状況になりがちなことです。今回の分科会のような広域での交流を数多く開催していただき進学・就職先でも気軽にROTEX活動が出来るような環境になってほしいと思いました。

最後になりますが、ROTEXの方々を帰国報告会の時だけでなく、クラブでは勿論のこと分区分・地区の催し等に呼んで頂きたいと思います。



RLI委員会 DLトレーニング 4月24・29日

RLI委員会委員長 鈴木 和夫 (福島中央RC)



オンラインによるDLトレーニング開催

4月24日（土）と29日（木）の2日間10時から4時までZoomのDLトレーニングを行いました。初日の24日は石黒G、芳賀PG、酒井PG、平井PG、佐藤GN、右近GND、蛭田次期地区幹事の皆さんも参加、DLは初参加が加わり16名、さらに運営チームからは4名の参加と総勢27名で行われました。

村田RLI副委員長が進行役となり滞りなく進められ、RLI日本支部のFT委員長中村靖治先生の講義が約2時間行われました。講義の内容はディスカッションのルールやDLの心構えなどRLI基本とDLの進め方、さらにRLIが現在抱える課題一ロータリーの未来形成など多岐にわたっての懇切丁寧な説明がありました。また同時間にガバナース事務所にて、平井PGから運営チームの役割についての説明がありました。

午後からは27名全員が受講者役となって、4つのセッションをトレーニングしました。1セッション45分、3名のDLがそれぞれ担当するセッ

ションをリレー方式で行いましたが、良いトレーニングになったとの講評を中村先生からいただき励みになったと思います。

2日目のトレーニングはDLだけの参加となりました。残念ながら少なめの12名と千葉西RCから海賓勘一会員が参加され、午前中は中村先生からポリオプラス、ロータリーの歴史などなどの講義、午後からは2つのセッションを初日同様行いました。2日間のトレーニングを通して特に6名の新DLにとって大変に有意義なトレーニングになったと思います。また5月8日に行われるパートIに向けていろいろな課題も見つかり、それまでに解決できればと願っています。



2021-22年度地区補助金審査会＋引継ぎ会＋夕食会



TRF DRFC 早川 敬介 (郡山北RC)

2020年12月25日(日)14:00~19:00「2021-22年度 地区補助金審査会＋引継ぎ会＋夕食会」を於：姑娘飯店(郡山駅前)で開催いたしました。

「審査会」には、審査委員として石黒秀司DG・志賀利彦DGE・DRFC・補助金委員会委員にオブザーバーとしてV-DRFC・次年度地区幹事の8名参加をいただき、90分かけて慎重審査をいただきました。

「引継ぎ会」には、DG・DGE・TRF本年度委員・次年度委員の16名参加をいただき、早川が委員長として3年間にできなかった課題を皆さんで協力して進んでいただきたいことをお願いしました。

1. 「ロータリー財団委員会 資料」・「申請書・報告書等書式一覧」・「グローバル補助金 ガイド」を作成し、次年度用にファイル1冊にまとめたが、RI財団からの変更事項に応じた資料の作成を委員会で手分けをして修正して欲しいこと。
2. 地区補助金申請・報告は、事前にDRFCと補助金委員長にデータチェックを受けることと正式書類の提出が締切日に間に合うように徹底して欲しいこと。
3. 大委員長・小委員長への一任仕事が多く、委員会全員で手分けをしないと自分の仕事との両立が難しいほどの仕事量があること。
4. ロータリーカードの導入メリットについて紹介し、次年度には進めていただくこと。

ex.カードを使用しているクラブが、オンラインで人頭分担金を振込まれたときにも振込手数料がかからずPolio Plusに0.3%が還元されるなど。

「夕食会」には、前日24日(土)6:22にRI財団本部より「グローバル補助金GG1639968の最終報告書をご提出いただき、誠にありがとうございます。報告書はすべての要件を満たすものであったため、本補助金はこれをもって終了となります。

今回のグローバル補助金活動を、『ロータリー・ショーケース』でもぜひご紹介ください。」とのメールが届いたことをお知らせしました。

成功事例を紹介する「ロータリー・ショーケース」に挙げ、世界中のロータリアンから支援を受けたグローバル補助金プロジェクトを通して「東日本大震から福島県復興へのロータリーとしての取組み」を発信したいと思います。

次年度の地区ロータリー財団委員会活動にご協力をお願いいたします。



地区のあゆみ 4月29日

地区史編集委員会委員長 鈴木 邦典 (白河RC)

地区史編集委員会は去る4月29日(木)午前10:00から郡山ビューホテルアネックスにおいて開催した。石黒ガバナー、鈴木委員長あいさつの後、早速議題に入り以下の件について協議した。

1. あゆみ編集の確認・報告
2. 全ページ見本の確認
3. 「地区史あゆみ」は500冊、価格は¥8,000円を予定
また完本は6月中旬を予定で地区内RC配布先、会員90名以上のRCは10冊、50名以上6冊、50名未満3冊、20名未満2冊

地区役員・委員長・委員各1冊

4. 会計管理者として編集委員の佐藤和夫氏と林克重氏
5. 次回は6月23日、郡山にて



第6回諮問委員会 4月29日

地区幹事 関根 信 (郡山RC)

2021年4月29日(木)、総員17名中12名出席のもと、郡山ビューホテルアネックスに於いて第6回諮問委員会が開催されました。

諮問事項につきましては、以下のとおりです。

(1)地区事務所開設の件

石黒秀司ガバナーより、事務所固定化によって事務費用の軽減そして情報の共有化により委員会完結型への意識改革を図りたい旨の説明があり、福島佳之資金委員長より過年度の事務所費等の報告がなされ、結果3年後に開設したいが、年度毎に事情を把握していくことになった。

(2)地区大会収支中間報告の件

福島佳之地区資金委員長より2021年4月4日、11日に開催された地区大会の決算(案)の報告がなされた。

(3)地区冠名基金設立の件

早川敬介ロータリー財団委員長より主旨説明がなされ、地区としてかかる基金を5万ドルで設立する旨の承認がなされた。

(4)ふくしま職業奉仕宣言の件

初瀬照夫職業奉仕委員長よりかかる宣言の経過説明がなされ、承認可決された。

報告事項につきましては、以下のとおりです。

(1)阿久津肇パストガバナー「超我の奉仕賞」受賞・祝賀会への地区運営基金から支出すること。

(2)地区30年のあゆみの件

(3)ロータリーの未来形成(SRF)の件

〈2021-22年度関係〉

志賀利彦ガバナーエレクトより以下の内容での報告がなされた。

(1)2021-22年度地区予算(案)の件

菅原寛次期地区資金委員長より、補足説明がなされた。

(2)2021-22年度地区研修・協議会の件

蛭田修二次期地区幹事より、補足説明がなされた。

(3)国際大会(台湾・台北)の件

第13回全国RYLA研究会(山形大会) 5月1日

RYLA委員会委員長 菅野 拓司(保原RC)



5月1日全国RYLA研究会がお隣の2800地区(山形県寒河江市)にて開催されました。

当初2530地区からは5名参加予定でしたが、新型コロナウイルスの感染状況が悪化し県外からの参加は不可になりZoomでの参加となりました。

この研究会は近年毎年持ち回りで開催されており、東京・神戸・佐賀、そして今回開催が山形2800地区開催。

RYLAの内容は地区により開催時期・期間・参加年齢・プログラムもさまざま、研究会に参加することで他地区のRYLAについて情報交換ができるので山形で皆様にお会いできることを非常に楽しみにしておりましたが残念でした。

研究会は10時より開催され、大会委員長元RI理事 石黒慶一氏の挨拶の中でRYLA学友(ライラリアン)でロータリークラブを作りたい、衛星クラブでもいいので是非実現させて欲しいとお話がありました。

元RI理事三木明氏による特別講演「RYLAセミナーとは?」についてRID2680とRID2670地区合同開催の余島RYLAについて、RYLAの趣旨について話がありました。

続いてRIJEM研究委員黒田健一氏より「RYLAセミナーの理念と危機管理」について、なぜ兵庫方式なのか?余島RYLAは当初よりエンカウンターグループ、ファシリテーションの考え方を取り入れているそうです。

お昼の時間に総会があり、次回第14回全国RYLA研究会開催予定地は2690地区(鳥根・鳥取)に決定されました。

午後からRYLAトーク「RYLAセミナーの現状と今後」7名のパネリストから発表。

【1泊2日にて開催の2800地区】

【2泊3日開催の2550地区】

【3泊4日で開催の2680地区】

からそれぞれのRYLAについての発表がありました。

2800地区はしばらくRYLAを中止されていたようですが数年前から各地区のRYLAを見学して再開。ロータリアンによる手作りのRYLAを実施されておりRYLA学友会も設立されておられ驚きました。

企業から派遣されたRYLA研修生は、ローターアクトのリーダーシップに感動し、ローターアクトに入会したいのですがどうすればいいのか?と何人の方からも聞かれ、その後、ローターアクトに入会した受講生もいるそうです。

そして「RYLAこそが、一般の若者、インターアクター、ローターアクター、青少年交換学生、米山奨学生まで巻き込める唯一のプログラムである。ロータリーの青少年奉仕の要は、RYLA研修会である。」2800地区RYLA委員会委員長のこの言葉。まさしくその通りですね。

今回の研究会に参加してRYLAを主体にした青少年奉仕、そして将来へのロータリー会員拡大という意味でRYLAを考えるべきではないかと思いました。



第3期オンラインRLIパート I 5月8日

RLI委員会委員長 鈴木 和夫 (福島中央RC)

5月8日(土)午前9時から午後16時30分まで、ZoomによるオンラインRLIパート I を開催しました。当地区から59名の参加希望者がありましたが、残念ながら数名の欠席者が出ました。また当地区から1名と2790地区(千葉県)から2名の見学者がありました。研修は、TC 3名(町田さん、高橋さん、幕田さん)のてきぱきとした判断と村田明美副委員長の明快な司会によりスムーズに運営されました。

今回もRLI日本支部ファシリテーター委員長の中村靖治先生をお迎えし、総勢86名の大きな研修になりました。9時から石黒秀司ガバナーあいさつ、平井義郎地区代表FTのあいさつ、中村靖治先生の来賓あいさつ、そして飛び入り参加の大橋廣治PGからもあいさつをいただきました。18名のDLの内6名は初めての体験であり、本番前に2日間の事前トレーニングを中村先生指導のもとに行い準備をしっかりと行ってきました。緊張した中にもDLとしての充実感、達成感を味わったと

思います。

パート I のセッションは「ロータリアンとしての私」というくくりで1.ロータリーにおけるリーダーシップ 2.私のロータリー世界 3.倫理と職業奉仕 4.財団 I 私たちの財団 5.会員の参加を促す 6.奉仕プロジェクトを創造するからなっています。

受講者の皆さんはどのように研修が進行するのか興味津々な部分と新しい発見があって楽しかったのではないのでしょうか。終わりにPGの酒井善盛地区代表委員からの言葉と中村先生から講評をいただきました。長い一日でしたが充実して時が早く過ぎたのではないのでしょうか。今後パート II、パート IIIとありますので楽しみにしてください。関係した皆さん大変お疲れさまでした。



三春RC創立50周年記念式典 5月9日

山口 晋司 (三春RC)

三春RCは、昨年計画していた創立50周年記念式典を、この5月9日三春交流館まほらで実施しました。1年延期してもコロナ禍は収束せず、当日まで内容の変更等がありました。式典は先ず、物故会員への黙祷、県中分区分角田恒雄ガバナー補佐の国際ロータリーからの創立50周年認定書伝達、三瓶一壽実行委員長の歓迎のことば。山口進会長からは、三春町出身の勝沼富造氏が、1915年発足のハワイホノルルロータリークラブのチャーターメンバーであったこと。田村郡一円をロータリーの森にする理想を具現したこと。県立田村高等学校に、JRCインターアクトクラブを通して、若い世代との交流が促進されていること。南米ポリビアの子供たちに、鍵盤ハーモニカ等の楽器を届けていることや、佐久間英一ガバナーを誕生させたこと等の記念スピーチがありました。来賓祝辞は坂本浩之三春町長、佐藤弘三春町議会議長、都合により欠席となった石黒秀司ガバナーのビデオメッセージがありました。その後、創立50周年

記念事業の「地域の未来を拓く、子供たちのために」をテーマとし、町内6つの小学校へ楽器、電子黒板、大型モニター等、機材器具等を寄贈したことを増子博保副会長から報告しました。次に、スポンサークラブの本宮RCへ感謝状の贈呈を、船引RCから三春RCへの記念品寄贈が行われました。現下のコロナ禍で、祝賀会は取りやめました。式典前に、理学博士である加藤碩一先生による「福島の大を科学と文学から探り未来を目指そう」との演題での講演も行いました。



「ハイライトよねやま253号～254号」から

==253号のトピックス==

1. オープンマインドで多様性への理解を
2. 各地区で奨学生オリエンテーションを開催
3. 寄付金速報 ―コロナ禍のご支援に感謝―
4. マレーシア米山学友会がZoom総会を開催
5. 第4代よねやま親善大使の自己紹介動画

==254号のトピックス==

1. 軍政続くミャンマーから学友レポート
2. 被害を受けた家庭へ物資などを提供
3. 「学友の集い」で米山をアピール!
4. 寄付金速報 ―4月単月はやや回復―
5. 『ロータリーの友』で学友の寄稿を連載中!

1. オープンマインドで多様性への理解を (ハイライトよねやまVol.253)

近年、LGBTQ+（性的マイノリティー）であることを明らかにする留学生が増えています。LGBTQ+の学生は、異国である日本の文化や言語を習得する以外に、その国で新たにできた友人や世話になる人々へ、自分のアイデンティティをどのように説明するか、また、カミングアウトをしてどのような対応をされるのかなどの葛藤を常に抱えていることも稀ではありません。

国際ロータリー理事会は、ロータリーが「多様性を重んじ、年齢、民族、人種、肌の色、能力、

宗教、社会的地位、文化、性別、性的指向、性自認にかかわらず、あらゆる背景をもつ人の貢献を称える」ことを再確認しています。

LGBTQ+の学生を含め、どのような留学生であっても、米山奨学生としての誇りを持って学業に専念し、地区の行事や世話クラブの活動にも参加できるよう、あらためて皆さんのご理解とご配慮をよろしくお願いいたします。

2. 各地区で奨学生オリエンテーションを開催 (ハイライトよねやまVol.253)

新しい奨学生を迎える季節になりました。今年の奨学生オリエンテーションも新型コロナウイルスの状況に配慮しながらの開催となっています。人と人との交流が希薄になりがちな時代ですが、米山奨学生がロータリーの活動に親しみ、末永く交流できる基盤づくりをよろしくお願いいたします。

第2510地区【北海道】 大学から在學生へ出された行動指針の基準に沿って、風力計で換気を確認、CO₂濃度も常にチェックするなどホテルの協力で対策を徹底。300人規模の会場に約70人が参加しました。

第2770地区【埼玉県】 会場に集合して開催。今年確約書の説明と、奨学生・カウンセラーの

顔合わせ、自己紹介をメインとし、米山記念奨学事業の詳しい説明や、カウンセラーオリエンテーションは後日Zoomで実施します。

第2670地区【徳島・香川・愛媛・高知県】 原則として分区ごとに実施。愛媛分区ではオリエンテーションとカウンセラー研修を個別に実施。奨学生、カウンセラー、幹事、事務局職員にも出席いただき、奨学生の心得を説明し奨学金とバッジを贈呈。クラブ側の事務処理についても十分説明できたことが個別訪問のメリットでした。他の3分区は集合形式で開催します。

3. 寄付金速報 ―コロナ禍のご支援に感謝― (ハイライトよねやまVol.253)

3月までの寄付金は前年同期と比べて1.9%減（普通寄付金：1.4%減、特別寄付金：2.3%減）、先月と変わらず約2,200万円の減少となりました。新型コロナウイルスの再拡大によりリアルでの例会開催が困難な中、皆様からの貴重なご寄付に厚く御礼申し上げます。早くワクチン接種が進み、安心して通常の生活に戻れることを祈るばかりです。

今年度も残り2ヶ月半ですが、引き続き米山記念奨学事業へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

4. マレーシア米山学友会がZoom総会を開催 (ハイライトよねやまVol.253)

3月20日(土)、マレーシア学友会総会がZoomで開催されました。当日はマレーシア国内だけでなく、海外在住の同国出身学友、その他ロータリアンや他学友会代表者ら総勢60人ほどが参加。黄麗容会長(2001-04/横浜泉RC)は冒頭で、「学友会に参加するのは、意義と恩を感じているから。私たちがもらった米山奨学金は、天から降ってきたものではなく、日本のロータリアンが出し合って集められたもの。世界唯一の顔の見える奨学金制度。教育で世界は変わるといふ、ロータリアンの信念です」と述べ、米山学友が集まる意義を力強く語りました。続いて活動報告や決算報

告、そして、マレーシア当局の手続きに則って役員選挙が行われた結果、新幹事としてキューイーホンさん(2016-17/岩見沢東RC)が選任され、他の役員は再任となりました。

このほか、「世界米山学友の集い」提唱者の一人である何玉翠さんと、関東での開催実行委員長に就任した朴貞子さんから、次回の集いの説明と参加の呼びかけがありました。その後も交流は長時間続き、日本のロータリアンとマレーシアの学友が新たに繋がる場面もありました。Zoomであっても、繋がり続けることの大切さを実感するすばらしい総会でした。

5. 第4代よねやま親善大使の自己紹介動画 (ハイライトよねやまVol.253)

昨年7月から活動を開始した第4代よねやま親善大使。本来であれば、全国の各地区を訪問し、米山関連の研修セミナーなどでスピーチをし、ロータリアンの皆さまや各地区の奨学生・学友と交流し、米山記念奨学事業の理解を深めてもらうことを主な活動としています。今回、親善大使が各自で自己紹介の動画を作ってくれました(1人約10分)。3人の魅力はこの短い動画には収まりきれませんが、ぜひ多くの方にご覧いただき、親

善大使の招へいをご検討ください。招へいのご依頼・ご相談は下記まで。現在、Zoomでの参加要請もお受けしています。

- 親善大使の動画ページ：
(右QRコードを読み取ってください)
- 親善大使の招へい：広報担当
seminar@rotary-yoneyama.or.jp



1. 軍政続くミャンマーから学友リポート (ハイライトよねやまVol.254)

今年2月1日から、毎日の悲しい出来事に、ああこれが夢だったら……と考えぬ日はありません。心が壊れそうになるのを耐え、平和と安全を祈る日々です。

あの日から私たちの生活は一変しました。今まで毎日やる事がたくさんありましたが、できる事がほんの僅かに限られ、何をすることも不安がつきまといまいます。インターネットは企業用と光ファイバーしか繋がらないので、多くの市民は外部の情報を得ることができません。私の教室では、せめて子供たちの教育だけは守りたいと、オンライン授業を続けていますが、それも困難な状況です。最低限の買い物や銀行へ行くといった外出すら安全ではありません。

今までたくさんの苦勞を乗り越えてきましたが、今回ほど辛いものはありません。一番辛いのは全面的に自由がなくなった事です。自由に話せない、自由に動けない、自由に教育が受けられない、自由に働けない、自由に人を助ける事ができない、自由にボランティアができない――。

学友会メンバーとは全員は連絡が取れていませんが、皆無事だと思います。ただ、最近是有名人、医者、ボランティア団体などが狙われ、逮捕されたりしています。集まると目をつけられるため、今ミャンマーではロータリークラブの例会や活動、米山学友会活動を行うことができません。互いの連絡も控えている状況です。

ミャンマーの若者は勇気があり、心優しく、賢い人が多いです。私はこの国の未来のために、これからもミャンマーで次世代の若者や子供を育てる仕事を続けて行きたいです。

国内は経済状況が悪化し、支援が必要な国民が増えています。ミャンマーの平和な日常を皆の力で取り戻し、今後もロータリーの活動がミャンマーで継続できるよう願っています。皆様の応援にいつも心から感謝しています。

(匿名希望2010-11年度米山奨学生より)

2. 被害を受けた家族へ物資などを提供 (ハイライトよねやまVol.254)

ミャンマーの現状に心を痛めた大阪在住のロータリアンが支援を申し出たことを受け、在日ミャンマー人学友(匿名希望2018-20年度米山奨学生)が家族の協力のもと、現地で被害を受けた家庭約30軒に米などの食料と生活必需品を提供したほ

か、父親を亡くした高校生へ1ヶ月分の学費を寄付しました。

3. 「学友の集い」で米山をアピール! (ハイライトよねやまVol.254)

4月10日、第2580地区(東京)が主催する第2回「学友の集い」が開かれ、学友やロータリアンなど97人が会場に集まったほか、オンラインでも28人が参加しました。

このイベントは、ロータリー学友(青少年交換、インターアクト、ローターアクト、RYLA、ロータリー財団奨学金、米山奨学金などの修了生)が、プログラムや年代を超えて交流できる場として企画されたもので、第1回目は2019年5月に実施されています。

当日は、野生司義光ガバナー、そして第2750地区から参加した青柳薫子青少年奉仕委員長の挨拶に続き、各プログラムの学友代表がそれぞれの活動について報告しました。ロータリー米山奨学生学友会(東京)からは、理事長のイット チャンソクピーアさん(2010-11/東京田無RC)が登壇し、学友会の活動を報告しました。その後、

学友らが中国クラシックダンスと朗読、バイオリン、ピアノや二胡による演奏、モンゴルや沖縄民謡の独唱、三味線と笛による日中伝統楽器合奏などを次々と披露し、会場を沸かせました。最後は、米山学友・現役奨学生27人全員が立ち「上を向いて歩こう」を合奏・合唱しました。

前理事長の梁一強さん(1999-2001/東京四谷RC)は、「昨年、日本のロータリー100周年を記念して企画した『インターナショナルサロン2020』が、新型コロナウイルスのため中止となったが、そこで披露する予定だった演目を発表する機会をいただき、とても感謝している。今後も学友が母国を紹介できるような交流の場を作りたい」と、語りました。

4. 寄付金速報 —4月単月はやや回復— (ハイライトよねやまVol.254)

4月までの寄付金は前年同期と比べて0.7%減(普通寄付金:0.4%減、特別寄付金:0.8%減)、約790万円の減少となりました。ただ、4月単月の寄付額を見ると過去3年間で最も多く、復調への兆しも見えます。全国的に例会を休会しているクラブが多い中、ロータリアンの皆様からのご支

援に深く感謝申し上げます。まだ収束の見通しが立たず、今後の不安も残りますが、これからも当奨学事業へのご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

5. 『ロータリーの友』で学友の寄稿を連絡中! (ハイライトよねやまVol.254)

『ロータリーの友』に毎号、「よねやまだより」のページがあることをご存じでしょうか?

今年度からは好評の新シリーズ、「米山から世界の町へ」を連載中です。米山学友が自分の住む町の紹介や自身の近況をつづりながら、日本のロータリアンへ向けたメッセージを書いています。海外との往来が制限されている昨今ですが、

近い将来、ぜひ学友の母国や地元を訪ねてみてはいかがでしょうか。現地から、そうしたレポートを書いてくれる学友がいましたら、seminar@rotary-yoneyama.or.jp(広報担当:野津)までご連絡ください。

そのほかの記事は、ぜひPDF版をご覧ください。

→ <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/highlight>

コーディネーターニュース

第3地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 桑原 征一 (新居浜RC)

新型コロナウイルスの感染が始まって以来、約1年半となりますが、まだまだ収まる気配すらありません。

首都圏、関西圏、中部地域などの大都市圏に限らず、全国各地に蔓延しております。

私の居住する四国、愛媛県のような地方都市でもクラスターが発生し、しかも変異株が増加している状況であります。この今まで経験したことのないようなコロナ禍のなかで、私達は企業活動、家庭生活を、また、ロータリーの奉仕活動をどのように過ごしていけば良いのか、今こそロータリアンとしての能力を発揮しなければならない時だと痛感しております。

ロータリーの奉仕活動としては、各地域、各地区、各クラブ共大きな試練にさらされていると思います。

不要不急の外出の自粛、大人数での会合の自粛などの社会的要請に応えるため、諸事業の延期、中止など大変ご苦労をなさっていると思われまます。当地でも多数のクラブが例会そのものを休会せざるを得ない状況で、ロー

タリーの基本であるクラブ会員同士の親睦、交流さえままならない状況であります。

しかし、こういう時こそ新しい発想で活動を続けて行くべきであると思います。

例会を休会にするクラブもあれば、オンライン例会を開催しているクラブもあると仄聞しております。

知恵をだし合って新しい例会のありかたに挑戦してみるのも面白いと思います。

地区活動としても、各種の方法があろうと思います。

ちなみに、当地区ではガバナーのリーダーシップのもと、連日奮闘している医療現場へ、少しでもお役に立ちたく、パルスオキシメーターを四国4県の医師会に寄贈することと致しました。

各地区でも、それぞれ各事業を実施されている事と思います。

お互いにコロナに負けないう頑張りましょう。

第3地域ロータリーコーディネーター 高島 凱夫 (大阪中之島RC)

「地区・クラブにおける継続性」

日本の3地域において、2019～2020、2020～2021年度(第3地域は2018～2019年度から)に「戦略計画」についてのアンケートを当該年度のDGEにお願いしてご回答をして戴きました。

このアンケートの3地域のデータについては、近いうちに皆様方にお示しする事が出来ると思いますが、今回のコーディネーターニュースでは、第3地域の結果に基づいて述べさせて戴きます。なお、本年4月19日に開催された第1、2、3地域合同会議でのデータのすり合わせではほぼ同様の結果ではあったと感じています。

2020～21年度では地区戦略計画(ビジョン)委員会は、地域内では約91%の地区が委員会活動を開始しています。2018～19年度の調査では、8地区が委員会を設立し活動開始、2地区が設立はしているが未活動、1地区がまだ委員会を発足していない、という結果でした。2019～20年度の調査では、発足して活動している地区が8地区、発足しているが活動していないが3地区、という結果でした。紙面の関係でお見せすることが出来ませんが、年度ごとに回答が一致している地区は7地区です。4地区は統一された3年間の統一した進展がありません。このことは地区戦略計画委員会が持続性をもって運営されていない可能性が充分あるものと考えます。そうであればこの点の修正をしていくことをお考えいただきたいと思えます。

'20～'21年度で地区ビジョン、中長期目標を決定しているのは7地区、検討中が4地区でした。これも'19～'20年には決定していたのに、'20～'21年には検討中となっている地区が2地区見られました。勿論、もしこの地区がビジョン・中長期計画の見直し・再検討をしているのであれば、これは頼もしいものかと考えます。

各地区内のクラブの戦略計画委員会の設置状況に目を移してみましょう。'20～'21年度でクラブ戦略計画委員会(別名称でも可)の設立は50%以上が6地区、50%以下が5地区です。各クラブの委員会の設立は、50%以下のクラブでも'18～'19年度より着実に委員会設置されている

クラブの増加が見られているようです。まだ委員会の設置が整っていないクラブは、担当のガバナー補佐、あるいは地区戦略計画委員会へご相談の上、クラブ会員基盤を堅実なものにして戴きたいと存じます。

地区内でクラブビジョン或いは中長期計画を決めておられる割合が50%を超えている地区は、残念ながら2地区のみに終わっています。これはクラブの委員会の皆様にお力を注いで戴き、是非“クラブの3年5年10年先のクラブのあり方”、“皆様方のクラブの発展”をお考えの上、“クラブのビジョン”をお考え下さい。

ここでもう一度申し上げますが“クラブのビジョン”というのはその年度の“会長のテーマ”“地区ガバナーのテーマ”ではありません、先程申し上げた“自分のクラブの未来の姿”なのです。この中には“未来の奉仕活動を如何にするのか?”“自分のクラブの会員数をどの程度にするのか?”“クラブの資金を如何にするのか?”などなど様々なことが考えられるでしょう。是非クラブで検討をしてみして下さい。

2012年RID2660DGを務めさせて戴いた後、地区戦略計画委員会の設立に始まり、地区内クラブに戦略計画委員会設立に力を注いできました。

ロータリー公共イメージコーディネーター補佐、ロータリーコーディネーター補佐、ロータリーコーディネーターを務めさせて戴き様々な方に教えられ、様々なことを見せて戴きました。

各クラブが創立時のロータリーに入会した時の“ワクワクした気持ち”を若い世代に伝え、自分が行ってきた奉仕活動でえた“ワクワクとした気持ち”を若い世代に伝えて下さい。

私がいつも「ロータリーを皆様の時代に終息させて良いのですか? 私はロータリーは未来に続くものだと考えています。そのためには“若い血の導入”が不可欠です」と申し上げています。

この素晴らしい組織を新しい仲間を加え皆様と共に守っていきましょう!!

ロータリー賞への取組状況 (2021年5月13日現在)

分区	クラブ	会員の増強と参加促進		ロータリー財団への寄付		奉仕		若いリーダー		公共イメージ		合計	
		目標設定	(達成)	目標設定	(達成)	目標設定	(達成)	目標設定	(達成)	目標設定	(達成)	目標設定	(達成)
中央分区	郡山	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)
	郡山西	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)
	郡山東	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)
	郡山南	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)
	郡山北	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)
	郡山西北	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)
	郡山安積	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)
	郡山アーバン	6	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	6	(0)
	郡山コスモス	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)
福島グローバル	8	(1)	3	(0)	—	(0)	1	(0)	3	(2)	15	(3)	
県北第一分区	福島	8	(2)	4	(3)	1	(0)	2	(2)	6	(6)	21	(13)
	二本松	8	(5)	3	(0)	1	(0)	1	(0)	6	(5)	19	(10)
	福島南	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)
	福島西	8	(2)	4	(3)	1	(0)	5	(2)	6	(5)	24	(12)
	福島中央	3	(2)	2	(2)	1	(0)	1	(1)	6	(4)	13	(9)
	二本松あだたら	8	(3)	2	(1)	1	(0)	1	(0)	6	(6)	18	(10)
	福島21	8	(6)	5	(1)	1	(1)	5	(1)	6	(6)	25	(15)
会津分区	会津若松	6	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	6	(0)
	喜多方	6	(3)	3	(1)	1	(1)	3	(2)	5	(4)	18	(11)
	会津若松西	1	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	1	(0)
	猪苗代	8	(1)	5	(3)	1	(0)	5	(2)	6	(0)	25	(6)
	会津坂下	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)
	田島	1	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	1	(0)
	会津若松南	7	(0)	3	(0)	—	(0)	2	(1)	2	(0)	14	(1)
	会津若松城南	7	(0)	2	(0)	1	(0)	2	(0)	6	(2)	18	(2)
	喜多方中央	8	(0)	5	(0)	1	(0)	5	(2)	6	(0)	25	(2)
	会津若松中央	8	(1)	2	(0)	—	(0)	1	(0)	3	(0)	14	(1)
いわき分区	いわき	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)
	いわき小名浜	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)
	いわき勿来	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)
	いわき内郷	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)
	いわき常磐	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)
	いわき平東	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)
	いわき四倉	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)
	いわき平中央	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)
県北第二分区	いわき	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)
	飯坂	8	(7)	3	(2)	1	(0)	1	(0)	6	(6)	19	(15)
	福島北	6	(2)	2	(1)	1	(1)	4	(3)	6	(6)	19	(13)
	保原	6	(5)	3	(1)	1	(1)	1	(0)	6	(6)	17	(13)
	福島東	6	(5)	2	(0)	1	(1)	1	(0)	6	(6)	16	(12)
	梁川	8	(2)	5	(0)	1	(0)	—	(0)	3	(0)	17	(2)
	川俣	5	(5)	2	(2)	1	(0)	1	(0)	6	(2)	15	(9)
だて	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	
福島しんたつ	7	(0)	3	(3)	1	(0)	2	(1)	6	(0)	19	(4)	
県南分区	白河	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)
	須賀川	7	(7)	3	(3)	1	(0)	4	(1)	5	(5)	20	(16)
	東白川	8	(1)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	8	(1)
	石川	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)
	矢吹	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)
	白河西	6	(5)	1	(0)	1	(0)	1	(1)	4	(3)	13	(9)
	須賀川ほとん	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)
白河南	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)	
相双分区	原町	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)
	相馬	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)
	浪江	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)
	富岡	6	(4)	3	(2)	1	(0)	—	(0)	3	(0)	13	(6)
県中分区	原町中央	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)
	南相馬	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)
	本宮	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)
	三春	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)
	常盤	8	(4)	3	(2)	1	(0)	1	(0)	6	(4)	19	(10)
小	滝根	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)
	船引	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)
	小野	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	—	(0)	0	(0)

ロータリー賞の達成方法

- 25の目標に目を通す
- その中から13の目標（または全目標の51%以上）を選ぶ
- 選んだ目標を達成する
- 達成項目には、「RIにおいて自動的に反映されるもの」と「クラブにおいて達成をご報告いただく必要があるもの」がございますが、2021年6月30日時点で25分の13以上の達成がロータリー賞の受賞条件でございます。

新会員紹介

<p>■ 県北第一分区 福島RC 加藤 弘樹</p> <p>■ 入会日 2021年4月8日入会 ■ 職業分類 金融取引 ■ 勤務先 農林中央金庫福島支店</p>	<p>■ 県北第一分区 福島西RC 石川 淳一</p> <p>■ 入会日 2021年4月12日入会 ■ 職業分類 地方銀行 ■ 勤務先 東邦銀行西福島支店</p>	<p>■ 会津分区 田島RC 菊地 哲</p> <p>■ 入会日 2021年4月13日入会 ■ 職業分類 金融業 ■ 勤務先 会津信用金庫田島支店</p>	<p>■ 県北第二分区 飯坂RC 伊藤 俊憲</p> <p>■ 入会日 2021年4月15日入会 ■ 職業分類 新聞報道 ■ 勤務先 福島民友新聞社飯坂支局</p>
<p>■ 県北第二分区 川俣RC 西田 茂也</p> <p>■ 入会日 2021年4月12日入会 ■ 職業分類 生命保険 ■ 勤務先 朝日生命保険相互会社福島営業所</p>	<p>■ 県北第二分区 福島しんたつRC 深原 幸友</p> <p>■ 入会日 2021年4月1日入会 ■ 職業分類 販売 ■ 勤務先 YKKAP(株)</p>	<p>■ 県南分区 須賀川RC 佐藤 貞和</p> <p>■ 入会日 2021年3月8日入会 ■ 職業分類 小売業 ■ 勤務先 ㈱JAあぐり夢みなみ</p>	<p>■ 県南分区 須賀川RC 土屋 貴男</p> <p>■ 入会日 2021年4月5日入会 ■ 職業分類 病院 ■ 勤務先 公立岩瀬病院</p>
<p>■ 県南分区 東白川RC 大瀧 喜英</p> <p>■ 入会日 2021年2月16日入会 ■ 職業分類 金融業 ■ 勤務先 白河信用金庫端支店</p>	<p>■ 県南分区 石川RC 白岩 祐樹</p> <p>■ 入会日 2021年4月1日入会 ■ 職業分類 新聞記者 ■ 勤務先 福島民報社石川支局</p>	<p>■ 県南分区 白河西RC 井上 敬裕</p> <p>■ 入会日 2021年4月8日入会 ■ 職業分類 損害保険業 ■ 勤務先 東京海上日動火災保険株式会社</p>	<p>■ 県南分区 白河西RC 水上泰真人</p> <p>■ 入会日 2021年4月8日入会 ■ 職業分類 弁護士 ■ 勤務先 みなかみ法律事務所</p>
<p>■ 県南分区 白河西RC 永山龍太郎</p> <p>■ 入会日 2021年4月8日入会 ■ 職業分類 ファッション製造業 ■ 勤務先 永山産業株式会社</p>	<p>■ 相双分区 原町RC 小野塚昭詞</p> <p>■ 入会日 2021年3月18日入会 ■ 職業分類 金融業 ■ 勤務先 ㈱常陽銀行</p>	<p>■ 相双分区 原町RC 阿部 高浩</p> <p>■ 入会日 2021年4月22日入会 ■ 職業分類 信用金庫 ■ 勤務先 あぶくま信用金庫</p>	<p>■ 相双分区 浪江RC 渡部 純</p> <p>■ 入会日 2021年4月8日入会 ■ 職業分類 新聞 ■ 勤務先 ㈱福島民報社</p>

物故会員



物故会員

謹んでお悔やみ
申し上げます。

<p>■ 中央分区 福島グローバルRC 小沼 博義</p> <p>2021年4月25日 ご逝去 享年42歳 ロータリー歴 11年</p>	<p>■ 会津分区 喜多方RC 佐原 元</p> <p>2021年5月3日 ご逝去 享年83歳 ロータリー歴 39年</p>	<p>■ いわき分区 いわき桜RC 遠藤希和子</p> <p>2021年4月2日 ご逝去 享年83歳 ロータリー歴 16年</p>
---	---	--

ロータリー財団ご寄付の認証者

<p>■ 会津分区 喜多方RC 佐藤富次郎 (メジャードナー レベル1)</p>	<p>■ 県北第一分区 福島南RC 斎藤 ミヨ (マルチプル・ボール・ハリスフェロー +7)</p>	<p>■ 県北第一分区 福島南RC 宍戸 清和 (マルチプル・ボール・ハリスフェロー +6)</p>	<p>■ 県北第一分区 福島南RC 大野 順道 (マルチプル・ボール・ハリスフェロー +5)</p>
<p>■ 県北第一分区 福島南RC 渡辺 勇 (マルチプル・ボール・ハリスフェロー +5)</p>	<p>■ 県北第一分区 福島南RC 國井 元 (マルチプル・ボール・ハリスフェロー +3)</p>	<p>■ 県北第一分区 福島南RC 鈴木 洋子 (マルチプル・ボール・ハリスフェロー +3)</p>	<p>■ 県北第一分区 福島南RC 菊地 和宏 (マルチプル・ボール・ハリスフェロー +1)</p>

4月会員数報告とMy ROTARY登録率・生年月日登録率

分区	クラブ	7/1 現在会員数 (内女性)	当月開始会員数 (内女性)	当月入会者数 (内女性)	当月退会者数 (内女性)	当月末会員数 (内女性)	例会回数	出席率(%) (参考)	My ROTARY 登録率(5/10)	生年月日 登録率(5/13)
中央分区	郡山	98 (0)	99 (0)	0 (0)	0 (0)	99 (0)	4	81.75 %	18.18 %	19.19 %
	郡山西	39 (0)	37 (0)	0 (0)	1 (0)	36 (0)	3	100.00 %	83.33 %	2.78 %
	郡山東	33 (3)	32 (3)	0 (0)	0 (0)	32 (3)	3	88.54 %	87.88 %	56.25 %
	郡山南	85 (12)	90 (12)	0 (0)	0 (0)	90 (12)	4	91.18 %	82.22 %	85.56 %
	郡山北	41 (1)	42 (1)	0 (0)	2 (0)	40 (1)	4	71.79 %	57.50 %	17.50 %
	郡山西北	44 (1)	43 (1)	0 (0)	0 (0)	43 (1)	2	82.72 %	30.23 %	11.63 %
	郡山安積	39 (3)	49 (3)	0 (0)	0 (0)	49 (3)	2	71.43 %	28.57 %	14.29 %
	郡山アーバン	30 (14)	30 (14)	0 (0)	0 (0)	30 (14)	2	81.03 %	70.00 %	30.00 %
	郡山コスモス	19 (4)	17 (4)	0 (0)	1 (1)	16 (3)	2	100.00 %	87.50 %	62.50 %
福島グローバル	19 (2)	19 (2)	0 (0)	1 (0)	18 (2)	4	74.32 %	78.95 %	94.44 %	
中央分区小計		447 (40)	458 (40)	0 (0)	5 (1)	453 (39)		84.28 %	62.44 %	39.41 %
県北第一分区	福島	90 (5)	93 (7)	1 (0)	1 (0)	93 (7)	4	81.18 %	96.74 %	95.70 %
	二本松	36 (2)	37 (4)	2 (0)	2 (0)	37 (4)	3	85.58 %	66.67 %	91.89 %
	福島南	73 (6)	73 (6)	0 (0)	0 (0)	73 (6)	4	75.26 %	72.60 %	100.00 %
	福島西	22 (2)	22 (1)	1 (0)	0 (0)	23 (1)	3	87.93 %	72.73 %	91.30 %
	福島中央	51 (3)	53 (4)	0 (0)	1 (0)	52 (4)	1	67.31 %	100.00 %	100.00 %
	二本松あだたら	35 (5)	37 (6)	0 (0)	0 (0)	37 (6)	4	72.97 %	91.67 %	94.59 %
	福島21	45 (4)	46 (5)	0 (0)	0 (0)	46 (5)	4	93.08 %	97.83 %	97.83 %
県北第一分区小計		352 (27)	361 (33)	4 (0)	4 (0)	361 (33)		80.47 %	85.46 %	95.90 %
会津分区	会津若松	51 (0)	54 (0)	0 (0)	0 (0)	54 (0)	4	62.96 %	33.33 %	87.04 %
	喜多方	44 (0)	45 (0)	0 (0)	0 (0)	45 (0)	4	82.22 %	100.00 %	100.00 %
	会津若松西	20 (0)	24 (0)	0 (0)	0 (0)	24 (0)	4	100.00 %	58.33 %	91.67 %
	猪苗代	27 (4)	27 (4)	0 (0)	0 (0)	27 (4)	3	76.12 %	93.33 %	92.59 %
	会津坂下	32 (0)	30 (0)	2 (0)	0 (0)	32 (0)	3	86.46 %	71.88 %	3.13 %
	田島	37 (0)	35 (0)	1 (0)	1 (0)	35 (0)	4	66.19 %	62.86 %	68.57 %
	会津若松南	17 (1)	17 (1)	0 (0)	0 (0)	17 (1)	3	84.31 %	35.29 %	100.00 %
	会津若松城南	26 (0)	26 (0)	0 (0)	0 (0)	26 (0)	4	57.83 %	42.31 %	100.00 %
	喜多方中央	31 (1)	32 (1)	0 (0)	0 (0)	32 (1)	4	76.00 %	75.00 %	96.88 %
会津若松中央	21 (8)	20 (7)	0 (0)	0 (0)	20 (7)	4	66.25 %	90.00 %	95.00 %	
会津分区小計		306 (14)	310 (13)	3 (0)	1 (0)	312 (13)		75.83 %	66.23 %	83.49 %
いわき分区	いわき平	48 (0)	51 (0)	0 (0)	1 (0)	50 (0)	4	44.06 %	22.00 %	98.00 %
	いわき小名浜	68 (0)	72 (0)	0 (0)	0 (0)	72 (0)	2	68.66 %	27.78 %	97.22 %
	いわき勿来	46 (0)	44 (0)	0 (0)	0 (0)	44 (0)	3	78.79 %	29.55 %	100.00 %
	いわき内郷	18 (1)	23 (2)	0 (0)	0 (0)	23 (2)	3	69.70 %	30.43 %	52.17 %
	いわき常磐	17 (0)	17 (0)	2 (0)	0 (0)	19 (0)	3	84.44 %	35.29 %	15.79 %
	いわき平東	43 (2)	44 (2)	0 (0)	0 (0)	44 (2)	2	100.00 %	95.45 %	95.45 %
	いわき四倉	11 (3)	11 (3)	0 (0)	0 (0)	11 (3)	2	68.18 %	27.27 %	100.00 %
	いわき平中央	31 (4)	31 (4)	0 (0)	1 (0)	30 (4)	4	47.50 %	30.00 %	93.33 %
いわき桜	15 (15)	16 (16)	0 (0)	1 (1)	15 (15)	3	75.56 %	86.67 %	100.00 %	
いわき分区小計		297 (25)	309 (27)	2 (0)	3 (1)	308 (26)		70.77 %	42.72 %	83.55 %
県北第二分区	飯坂	40 (4)	38 (4)	1 (0)	0 (0)	39 (4)	3	82.61 %	100.00 %	100.00 %
	福島	53 (0)	53 (0)	0 (0)	0 (0)	53 (0)	4	73.56 %	100.00 %	100.00 %
	保原	26 (1)	27 (1)	0 (0)	0 (0)	27 (1)	4	83.65 %	62.96 %	100.00 %
	福島東	37 (3)	40 (3)	0 (0)	0 (0)	40 (3)	3	78.33 %	80.00 %	97.50 %
	梁川	16 (1)	17 (2)	0 (0)	0 (0)	17 (2)	4	92.65 %	70.59 %	100.00 %
	川俣	33 (1)	37 (1)	1 (0)	1 (0)	37 (1)	4	79.86 %	62.16 %	100.00 %
	だて西	8 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		%	%	%
福島しんたつ	26 (3)	23 (3)	1 (0)	0 (0)	24 (3)	2	50.00 %	62.50 %	100.00 %	
県北第二分区小計		239 (15)	235 (14)	3 (0)	1 (0)	237 (14)		77.24 %	76.89 %	99.64 %
県南分区	白河	43 (3)	42 (3)	1 (0)	1 (0)	42 (3)	3	100.00 %	35.71 %	19.05 %
	須賀川	42 (0)	45 (0)	1 (0)	1 (0)	45 (0)	4	87.50 %	13.64 %	82.22 %
	東白川	10 (0)	11 (0)	1 (0)	1 (0)	11 (0)	4	86.36 %	45.45 %	100.00 %
	石川	36 (1)	35 (1)	1 (0)	0 (0)	36 (1)	4	92.65 %	27.78 %	100.00 %
	矢吹	13 (1)	12 (1)	0 (0)	0 (0)	12 (1)	3	61.11 %	25.00 %	16.67 %
	白河西	58 (4)	61 (5)	3 (0)	1 (0)	63 (5)	4	93.22 %	77.78 %	100.00 %
	須賀川ぼたん	12 (0)	13 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (0)	4	100.00 %	46.15 %	92.31 %
	白河南	17 (0)	17 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (0)	4	71.70 %	11.76 %	0.00 %
県南分区小計		231 (9)	236 (10)	7 (0)	4 (0)	239 (10)		86.57 %	35.41 %	63.78 %
相双分区	原町	25 (0)	24 (0)	1 (0)	1 (0)	24 (0)	2	60.00 %	25.00 %	100.00 %
	相馬	28 (3)	30 (5)	0 (0)	0 (0)	30 (5)	2	100.00 %	30.00 %	83.33 %
	浪江	44 (2)	45 (3)	1 (0)	0 (0)	46 (3)	1	66.67 %	26.09 %	93.48 %
	富岡	36 (3)	39 (4)	0 (0)	0 (0)	39 (4)	0	— %	28.21 %	100.00 %
	原町中央	37 (6)	45 (6)	0 (0)	0 (0)	45 (6)	2	52.00 %	15.56 %	97.78 %
	南相馬	28 (4)	25 (3)	0 (0)	0 (0)	25 (3)	4	76.00 %	92.00 %	100.00 %
相双分区小計		198 (18)	208 (21)	2 (0)	1 (0)	209 (21)		70.93 %	36.14 %	95.76 %
県中分区	本宮	34 (5)	35 (6)	1 (1)	0 (0)	36 (7)	3	51.49 %	38.89 %	100.00 %
	三春	23 (2)	23 (2)	0 (0)	0 (0)	23 (2)	3	86.96 %	69.57 %	86.96 %
	常葉	22 (0)	23 (0)	0 (0)	0 (0)	23 (0)	4	91.30 %	60.87 %	100.00 %
	滝根	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2	100.00 %	100.00 %	100.00 %
	船引	47 (3)	47 (3)	0 (0)	0 (0)	47 (3)	3	65.25 %	59.57 %	6.38 %
	小野	15 (0)	19 (1)	0 (0)	0 (0)	19 (1)	0	— %	26.67 %	21.05 %
県中分区小計		143 (10)	149 (12)	1 (1)	0 (0)	150 (13)		79.00 %	59.26 %	69.07 %
2530地区合計		2,213 (158)	2,266 (170)	22 (1)	19 (2)	2,269 (169)		78.14 %	58.07 %	78.83 %

※7/1 現在会員数には7/1入会者6名を含む。
 ※生年月日登録率は、My ROTARYに生年月日を登録している割合です。
 ※郡山コスモスRC 3月退会者1名 3月末会員数を17名に訂正
 ※常葉RC 3月入会者1名 3月末会員数を23名に訂正



例会はロータリーの原点 もう一度見直そう！

職業奉仕委員会副委員長 齋藤 純一（会津若松西RC）

ロータリー運動の原点が例会です。異論を講じる人は誰もいないでしょう。ロータリークラブは、奉仕の理念である他人の立場になってものを考え、他人のお役に立つ行動をする場です。例会は、多くの職種の指導者と知り合いになり、切磋琢磨し自分磨きをして、学んだことを所属する業界へ持ち帰り、業界の人々に広めるためであるとされています。また、自分の職業を通して社会に奉仕し貢献することにあります。そして、自分が例会に出席することによって、他のロー

タリアンと奉仕の情報交換を行う場です。つまり、例会は、異なった業種の優れた指導者たちとの交流を通して、友愛と成長を図り、その結果奉仕の心が育まれます。「例会は人生の道場」と言われる所以です。それでは、職業奉仕とはどのようなものなのでしょうか？

職業奉仕とは、ロータリーが創った造語です。ロータリーの誕生は親睦団体から互惠取引団体に、さらに会員の職業を通じて社会に奉仕する団体に成長してきたことから、当初より職業奉仕はロータリーの原点であると言われてきました。これもまた原点でありその礎は例会に求めています。このことにも異論を唱える人はいないでしょう。シエルドンは「最もよく奉仕するもの、最もよく報われる」と言い、シカゴの全米第一回大会で、商取引の中における奉仕の必要性が提唱されました。さらにポーランドでの大会で「超我の奉仕」の標語が出来、サンフランシスコ大会で「倫理訓」として発表され、さらに「道徳律」と改名されましたが1980年規定審議会で削除されました。長い間職業奉仕はロータリーの原点であるという指針は不変のもので、それに向かって活動しなさいと指導されてきました。ロータリーが他の団体と本質的に異なるところは、この職業奉仕の概念を持っているところです。ロータリーの奉仕の理念である職業奉仕の哲学はロータリー特有のものであり、これを理解し、守り育てていくことこそが死中に活を求めることであると考えます。つまりロータリーは親睦、学び、奉仕の理念、高潔性、指導力、職業奉仕の概念等々そして会員増強やクラブの魅力付けもすべて例会に求めていると言っても過言ではありません。今、ロータリーを学ぶための著書や資料や活動するための情報が他団体から比べてみても驚くほど多く存在します。しかしながら、ロータリーの原点に相応しく、先の要求に応えたいような魅力ある例会になっているのでしょうか。人任せになってはいないのでしょうか。マンネリにはなっていないのでしょうか？先の要求に応えたいような魅力ある例会を開催するための著書や資料や情報が数多くあるのでしょうか？実態はロータリーの原点であるべき重要な例会に関するものがあまりにも少ないことに驚愕を覚えています。今必要なことは、この魅力ある例会にするための資料や情報を収集し、広くロータリアンに発信して、そこからより良い魅力のある例会を皆で思考し、新たな魅力にあふれた例会を開催することこそが、命題である会員の増強と魅力あるロータリークラブを創りそしてロータリーの目的である「奉仕の理念」を実践することに繋がってくるものと考えます。

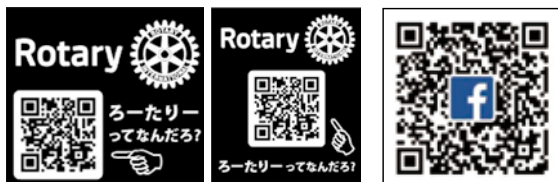
行事案内（6月）

- ◆中央分区 新会員セミナー
- ◆国際大会（台湾 台北）
- ◆事務担当者研修セミナー
- ◆RLI委員会 第3期パート2

日程：6月6日(日) 場所：南東北卸センター協同組合
 日程：6月12日(土)～16日(水) バーチャル
 日程：6月19日(土) 場所：おもてなしうおしん
 日程：6月20日(日) Zoom

公共イメージIT委員会からのお願い

スマホのカメラでQRコード読み取り「お気に入り」登録や「いいね」をお願いします。



紹介HP新聞掲載用デザイン
(福島民報、福島民友)

公共イメージIT委員会
Facebookページ

〈 今月の表紙紹介 〉



不動沢橋：福島市在庭坂に位置する、磐梯吾妻スカイラインつばくろ谷に懸かるアーチ橋。四季折々に雄大な吾妻連峰を借景とする。

福島RC 安藤 錬雄